

- ①  $\Phi$  が分析可能な場合には  $\phi$  に対するシュレディンガー方程式に帰着するような  $\Phi$  に対する方程式および
- ② それと等価な表示に対する方程式を書き下す。
- ③ ここまでの作業を自由度 1 の系ではなく場についても行なう。
- ④ 場の分析不能な量子歴史の表示の定義域を時空(冪級層時空)の定義とし、冪級層時空に何らかの構造(位相等)を導入する事により重力場の量子論を構築する。